

埼玉県
日墨戦略的グローバル・パートナーシップ
研修計画派遣奨学生
2020年度派遣者
募集要項



埼玉県県民生活部国際課
2019年11月

埼玉県日墨戦略的グローバル・パートナーシップ
研修計画派遣奨学生
2020年度派遣者 募集要項

1 趣 旨

外務省が行う、「第48期 日墨戦略的グローバル・パートナーシップ 研修計画」に、メキシコ州と姉妹提携を結んでいる埼玉県を代表する研修生として参加する奨学生を募集します。

2 概 要

(1) 募集人数 2名 (下記全てのコースを合わせた人数)

※ 埼玉県から推薦できる人数。最終合格人数ではありません。

(2) コースの概要

●スペイン語・メキシコ文化コース(約1年間)

ア 特定の分野について専門性を有する者(大学生、大学院生、実務家、研究者等)が、自らの研究活動、実務に役立てる観点から、スペイン語の習得を中心とした研修を行う。メキシコにおけるスペイン語能力判定試験において、一定の成績を修める者(注1)については、年度の後半は、大学等にて専門分野の授業の履修等を行うことが出来る。

(注1) メキシコ国立自治大学(UNAM)の外国人のためのスペイン語コース(CEPE)の中級(Intermedio2)修了レベル相当

イ 渡航までに基礎的スペイン語の習得に努めることが求められる。

ウ 研修生は、メキシコ到着後にCONACYT(国家科学技術審議会)によるオリエンテーションを受ける予定。

エ 研修期間中、全ての研修生は、メキシコ政府実施機関であるCONACYTに対し、定期的(3ヶ月毎)に研修活動報告書を提出し、各受講コースにおいて良好な成績を修めることが求められる。成績が悪い場合には奨学金の停止もあり得るので注意すること。奨学金の停止は、CEPEのスペイン語の授業において7.0(C)を下回る成績を取った際に、CONACYTにより決定される。

●専門コース（約１年間）

- ア メキシコの大学、又は、大学院等の研究機関において、文系、理系の専門分野の授業を履修する。大学等における専門分野の授業受講に必要なスペイン語能力^{※1}が求められる。
- イ 大学等における専攻・研究分野：文系、理系のあらゆる分野（ただし、大学等における授業の履修にあたっては、両国の戦略的グローバル・パートナーシップ^{※2}の強化に資する分野を専攻することが奨励される。）
- ウ 大学院等の研修機関で研修を行う場合、各自にて希望研修先の指導教官からの受入同意を得たうえで受入許可書を入手し埼玉県国際課まで提出する必要がある。
- エ 派遣先については、以下のとおり。
別添 1「メキシコ側受入可能研修機関」から研修希望機関（大学・大学院等）を選択する。その際、原則として埼玉県の姉妹州であるメキシコ州またはメキシコシティにある機関から研修先を選択すること。
ただし、研修生の受入大学等については、メキシコ政府実施機関であるCONACYTが各研修生の希望分野や語学力を考慮して最終的に決定する。
※ 研修機関の詳細は、以下の URL を参照
<http://svrtmp.main.conacyt.mx/ConsultasPNPG/inicio.php>
- オ メキシコ到着後、メキシコ国立自治大学（UNAM）の外国人のためのスペイン語コース（CEPE）にて実施されるスペイン語能力判定試験を受ける必要がある。同試験において一定のレベル^{※1}に達していないと判定される場合は、研修当初、同大学のスペイン語コースにて語学研修を行う。
- カ 研修生は、メキシコ到着後にCONACYTによるオリエンテーションを受ける予定。
- キ 研修期間中、全ての研修生は、CONACYTに対し、定期的（3ヶ月毎）に研修活動報告書を提出し、各受講コースにおいて良好な成績を修めることが求められる。成績が悪い場合には奨学金の停止もあり得るので注意すること。奨学金の停止は、CEPEのスペイン語の授業において7.0（C）を下回る成績を取った際に、CONACYTにより決定される。

※1 メキシコ国立自治大学（UNAM）の外国人のためのスペイン語コース（CEPE）の中級（Intermedio 2）修了レベル以上

※2 21世紀における戦略的グローバル・パートナーシップ及び経済成長促進に関する日本・メキシコ共同声明（2010年2月発表）
http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/mexico/visit/1002_ks.html

ク メキシコの大学院において正規の修士課程コースの履修を希望する者については、本プログラムでメキシコに滞在中に、一定の語学力^{※1}を習得し、かつ受入機関（大学院、研究機関等）から正規修士課程への受入れ許可及びCONACYTによる許可が得られれば、引き続きCONACYTから奨学金を得て、修士課程コースを履修することができる（この場合、CONACYTの修士課程奨学金プログラム^{※3}に申請する必要がある。なお、帰国のための航空賃は自己負担）。

(3) 派遣・給付期間（予定）※変更となる場合があります。
2020年8月中旬から2021年7月下旬の約1年間

(4) インターンシップ制度

奨学生のうち、下記の要件を満たす希望者は、メキシコの公的機関、研究機関、企業等において、一定期間（1ヵ月～6ヵ月程度）のインターンシップの実施を認められます。

- ア 一定のスペイン語力^{※1}を有すること
- イ インターン先での明確な研修計画を有していること
- ウ 受入機関からの受入証明書を自ら取得すること
- エ 上記条件を満たした上で、CONACYTの許可を得ること

(5) 待遇（メキシコ政府による給付内容）※変更される場合があります。

- ア 滞在費：毎月、月額11,528.26ペソを支給
- イ 医療保険：メキシコ政府（公務員保険・社会サービス庁：ISSSTE）が原則として負担。
- ウ 入学金・授業料：免除（半年間で約8,000ペソ相当。ただし、免除となるコースは本研修の目的に合致するコースのみであり、CONACYTの事前承認が必要。オンラインのコースは免除対象とはならない。）
- エ 渡航費：東京－メキシコシティー間の往復航空券を支給
- オ 住居の選定：原則ホームステイとし、CONACYTや大学等の協力を得ながら留学生自身が行う。

3 応募資格

次の（1）～（6）の要件を全て満たす方が対象となります。

(1) 埼玉県在住者で、日本国籍を有する者

※3CONACYT修士課程奨学金プログラム

(El Programa Nacional de Posgrados de Calidad(PNPC)
<http://svrtmp.main.conacyt.mx/ConsultasPNPC/inicio.php>

海外からの応募・一時帰国による応募は認められません。

- (2) 心身ともに健康な者
 - (3) 4年制大学(渡航時に大学3年生以上であること)又は大学院の在学者、卒業生、または学位取得者に準じた資格、十分な職務経験を有する者
 - (4) 応募対象年齢
 - ・スペイン語・メキシコ文化コース：20歳以上35歳未満の者
 - ・専門コース：20歳以上40歳以下の者(いずれも2020年4月1日現在)
 - (5) メキシコに単身で渡航できる者
 - (6) 一定のスペイン語力を有する者
- (スペイン語・メキシコ文化コースにおいても、現地の講義はスペイン語で実施するため。)

※ 過去に本計画(日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画(旧称：日墨交流計画))に参加した者は、団体推薦枠または一般公募枠での参加の如何を問わず応募できません。

※ 専門コースとスペイン語・メキシコ文化コースとの併願はできません。

※ 外務省が直接募集する同事業(日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画)との併願はできません。

※ さいたま市が実施する同事業(日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画)との併願はできません。

4 応募締切

2020(令和2)年1月6日(月)まで(消印有効)、次に定める書類を、簡易書留または持参により、埼玉県県民生活部国際課 国際戦略担当に提出してください。(持参の場合は1月6日(月)17時までにお持ちください。)

5 応募書類

以下の書類について、2部(正本1部+コピー1部)を提出してください。応募書類はお返しすることはできませんので、書類の写しを保管しておいてください。

(1) 出願書

和文

※ 別紙1のフォーマットを参照し、手書きではなく、パソコンで記入すること。

※ 様式は、外務省のHPの「出願書類一覧」からPDFをダウンロードして書類を作成すること。

https://www.mofa.go.jp/mofaj/la_c/m_ca_c/mx/page24_001038.html

(2) CONACYT 申込書

西文（又は英文）

- ※ 別紙 2-2（日本語訳）を参考にし、別紙 2-1 のフォーマットに原則としてスペイン語にて記入すること。写真は上記（1）と同じものを添付すること。4 ページ目の署名欄を必ず埋めること。スペイン語・メキシコ文化コースの応募は西文の代わりに英文で記入してもよい。

(3) 研修計画書

パソコンを使用すること。形式は自由。両面印刷不可。

スペイン語・メキシコ文化コース 和文及び西文（又は英文）

メキシコにおける研修計画、自らの研究活動、又は、職務の内容とメキシコとの関係、メキシコでの研修成果を今後の自らの研究、又は、職務、日墨関係の増進にいかに関与したいか等について、和文及び西（英）文（内容が一致していること）にて A4 用紙で各 3 枚程度にまとめる。

専門コース 和文及び西文

具体的な研修計画（大学・研究機関名、学部学科名・研修内容等）及び帰国後の予定について、和文及び西文にて（内容が一致していること） A4 用紙で各 3 枚程度にまとめる。

(4) 志望動機書

和文及び西文（又は英文）

- ※ パソコンを使用すること。形式は自由。両面印刷不可。
- ※ 志望動機について、和文及び西文にて（内容が一致していること）、A4 用紙で各 3 枚程度にまとめる。
- ※ スペイン語・メキシコ文化コースの応募は西文の代わりに英文で作成してもよい。

(5) 推薦状

和文及び西文（又は英文） 3 名分

- ※ 専門分野についての能力、人物等について、適切に評価し得る人（教授、上司等）3 名による推薦状。形式は自由。署名または捺印が必要。宛名を入れる場合は関係各位とし、他の形式は自由。

(6) 成績証明書及び卒業証明書

和文及び西文（又は英文）

- ※ 所属校の成績証明書及び最終学年者は卒業見込み証明書を提出すること。

- ※ 学士以上（高専等も含む）の学位を取得した場合は全ての成績証明書及び卒業証明書を提出すること。
 - ※ 最終学歴が高校の場合は卒業証明書のみでも可。
- (7) 語学（西語又は英語）能力を証明する書類（保有者のみ）
西文又は英文
西語：スペイン語技能検定、D E L E等の合格証明書、語学学校（西語コース）の修了証（修了レベル記載のもの）等
英語：T O E F L、T O E I C、実用英語技能検定等の合格証明書
- ※ 原本を提出できないものについては、正本のコピーでも提出可とする。
- (8) 健康診断書
和文及び西文（又は英文）
心身ともに健康であり、留学生活に差し支えないことを証明するもの。形式は自由（ただし、2019（令和元）年8月以降に受診したものに限る）。
- ※ 健康診断書英文サンプル（別添2）をそのまま使用することも可。
 - ※ 和文は医師の署名又は捺印、西（英）文は署名が必要。出願者の訳文＋原本コピーは不可。
- (9) 戸籍抄本
和文及び西文（又は英文）
※ 公的機関の発行する正本（和文）と正本のコピーに西文訳、又は、英文訳を記載したものの両方を提出する。
- (10) 写真4枚
横4cm×縦5cm、上半身脱帽。5か月以内に撮影したもの。裏面にローマ字で所属（SAITAMA-KENと記入）及び氏名を記入。出願書正本、CONACYT申込書正本にそれぞれ貼付し、残り2枚は封筒に入れて送付すること。写真のサイズを枠に合わせて変更しないこと。
- (11) 住民票
和文1部（取得後3ヶ月以内のもの）
- (12) 応募書類チェックリスト（別紙3）
提出前に、全ての書類が整っているか、チェックリストで確認すること。

< 「5 応募書類」 についての注意事項 >

- 1 出願書・CONACYT申込書のコピーは、写真貼付後の正本からとること。
- 2 正本が和文（又は、西文・英文）のみしか用意できない場合に限り、正本と正本のコピーに応募者本人の西（英）訳（又は、和訳）を直筆記入したものを提出すること。若しくは正本のコピーと別紙の西（英）訳（又は和訳）を一通としたものを不足言語分の正本とする。ただし健康診断書では不可。
- 3 出願書類は、A4判の大きさに折りたたむか、台紙に貼付し、A4判で統一すること。
- 4 開封無効の証明書等も開封してとじること。
- 5 提出された書類は一切返却しない。
- 6 書類の綴じ方

(1) 書類は正本とコピーを分け、以下の順に重ねてクリップ止める（ホチキスは使用しない）。

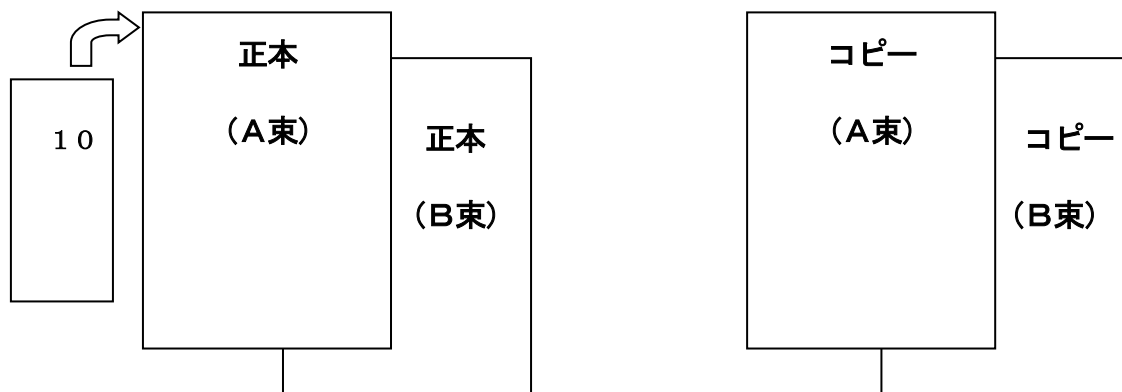
- ・和文の束（A）：(1), (3), (4), (5), (6), (8), (9), (10) (出願書正本に写真を貼付)、(11)、(12)
- ・西（英）文の束（B）：(2), (3), (4), (5), (6), (7), (8), (9), (10) (CONACYT申込書正本に写真を貼付)
- ・写真(2枚)入り封筒：(10)

※上記の番号は「5 応募書類（1）～（12）」までの番号と対応している。

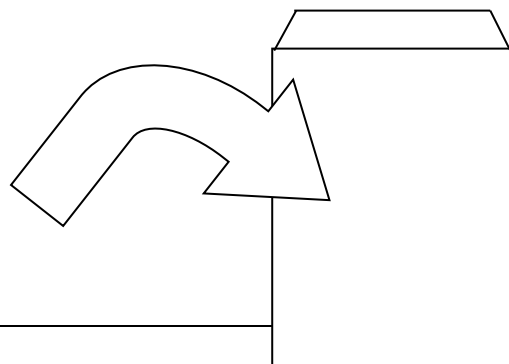
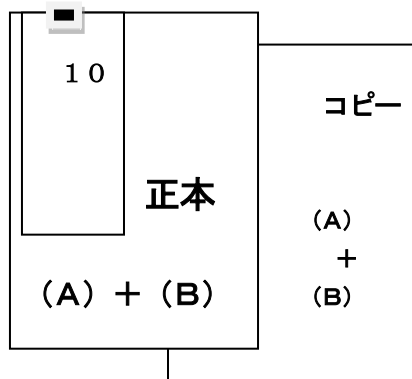
※和文の束には和文の書類を、西（英）文の束には西（英）文の書類をそれぞれ綴じること。ただし、和文の束に関しては、正本が和文でない場合は、和訳文のみでなく正本のコピーと和訳で一通とみなし綴じること。西（英）文の束に関しても、正本が西文・英文でない場合は、訳文のみでなく正本のコピーと訳文で一通とみなし綴じること。

(2) 正本とコピーをそれぞれ（A）、（B）の順に重ねる。

写真入り封筒は正本のうえに重ねともにクリップ止める（ホチキスは使用しない）。



(3) 正本を表にして、封筒に入れ送付する。



6 書類選考

書類選考結果は、面接の詳細と併せて2020（令和2）年1月14日（火）までに各応募者あてに連絡します。

7 面接選考

（1）面接選考の目的

当事業の趣旨を良く理解し、埼玉県から派遣する奨学生としてふさわしい人格、見識を持っているかどうかを評価するために面接選考を行います。

（2）面接の方法

応募者に対し、個人面接を行います。

※ 面接の詳細については、募集締切後、書類選考を行った上で、2020（令和2）年1月14日（火）までに各応募者あてに連絡します。

（3）面接の時期

2020（令和2）年1月20日（月）又は21日（火）（予定）

※面接は平日昼間帯（9：00～18：00頃）の実施を予定しています。

（4）面接の場所

埼玉県庁近辺の施設での実施を予定しています。

8 留学に関する注意事項

（1）誓約書への署名

ア 埼玉県への誓約書への署名

奨学生は渡航前に自己責任の原則を定めた誓約書に署名するものとします。留学中のトラブル・事故等について、埼玉県は一切の責任を負いません。

イ CONACYTへの誓約書への署名

埼玉県への誓約書のほか、別添3のCONACYTへの誓約書に署名する必要があります。出願時に提出は不要ですが、研修に関する詳細（奨学生の義務など）について、本誓約書を参照してください。

（2）海外旅行保険への加入

奨学生は、各自で海外旅行保険に加入し、写しを埼玉県に提出するものとします。なお、海外旅行保険の費用は自己負担です。

（3）留学の準備について

奨学生として決定された方は、ビザの申請や現地情報の入手等は御自身の責任で行っていただきます。

9 出願・選考・通知等の流れ（予定）

令和2年 (2020)年	1月6日（月）	募集締切（消印有効）
	1月14日（火） まで	書類選考結果・面接日程通知
	1月20日（月） 又は 1月21日（火） （予定）	県による面接
	1月下旬	県による被推薦者の決定
	6月下旬	メキシコ政府による審査・ 正式な受入通知 （メキシコ政府→外務省→埼玉県→ 被推薦者の流れで通知）

10 埼玉親善大使及び研修報告等について

(1) 奨学生には、奨学期間中、埼玉親善大使（※）として、現地レポート（800字程度）を1か月に1回埼玉県に提出していただくとともに、奨学期間終了時に「奨学終了報告書」（4,000字程度）を提出していただきます。

(※) 埼玉親善大使…埼玉県と世界の国々との懸け橋として、友好交流の推進に寄与いただける方に委嘱し、埼玉県のPRを図るとともに、本県の国際化の推進を図るものです。

(2) 提出いただいた埼玉親善大使レポートは、氏名とともに、埼玉県国際課のホームページへ掲載します。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0306/nichiboku-shogakusei.html>

（参考：埼玉親善大使レポートホームページ）

(3) 奨学生として決定された方には、出発前の埼玉親善大使委嘱式及び帰国後の報告会へ御出席いただきます。

(4) 奨学生として決定された方には、「埼玉県メキシコ研修生OBネットワーク（仮称）」及び「グローバル人材埼玉ネットワーク」（<http://www.ggsaitama.jp/globalnet/>）に御加入いただきます。県内で行われる国際交流事業への協力を依頼することがあります。

11 渡航前説明会

2020年7月下旬～8月上旬ごろ、渡航及び研修にあたっての重要事項に関する、外務省主催の渡航前説明会が東京において開催される予定であり、合格した研修生は必ず参加していただきます。

12 留意事項

(1) 埼玉県から推薦された方は、さらに日本政府による選考の上メキシコ政府に推薦されます。本県からの被推薦者が最終合格者ではありません。

- (2) 本研修計画は、奨学生の自主的な参加が求められており、CONACYTや在メキシコ日本国大使館はあくまでも側面的な支援を行うという点を十分理解し、明確な目的意識を持って主体的に参加する必要があることにご留意ください。
- (3) 本募集要項に記載されている諸要件（専攻分野、受入機関、派遣期間、待遇等）については、今後変更となる場合があります。
- (4) 研修期間中の日本への帰国及びメキシコ国外渡航は原則として認められません。
- (5) 安全で有意義な留学のため、この奨学金に応募する者は、各自で必ず事前に留学先の治安状況等の安全情報をはじめとする留学に関する情報を収集してください。なお、情報収集にあたっては、公的な留学情報機関である「日本学生支援機構」のウェブサイトや海外でのトラブル防止に役立つ世界各国の治安情勢や滞在中の留意点などの安全情報を提供している外務省の「海外安全ホームページ」を活用してください。
- (6) 一定額（上記2（5）参照）を超える範囲での学費、月額滞在費を超える範囲でのメキシコにおける諸雑費（国際通話料、国内旅行費など）、東京にて開催される渡航前説明会、在日メキシコ大使館におけるメキシコ査証申請・取得及び渡航当日の成田空港までの交通費等、上記2（5）に明記されていない部分については自己負担となる点にご留意ください。
- (7) 研修後、全ての研修生は外務省中南米局中米カリブ課への研修報告書の提出が義務づけられています。

【参考】

メキシコ国家科学技術審議会（CONACYT）：<http://www.conacyt.gob.mx>
独立行政法人 日本学生支援機構 海外留学支援サイト：<http://www.jasso.go.jp>
海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

問い合わせ先

埼玉県県民生活部国際課国際戦略担当

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

電話 048-830-2713 FAX 048-830-4748

E-mail a2705-09@pref.saitama.lg.jp